

平成31年度事務事業評価シート（重点戦略事業・一般事務事業用）

評価対象年度 H 30 年度

1 基本情報

事業名	中心都市拠点・生活拠点づくり事業		コード	3 - 1 - 1 - 1		
位置づけ	拠点創造プロジェクト		都市拠点がにぎわうまちづくり			
	市役所・白井駅周辺や西白井駅周辺などでの地域特性に合わせたにぎわいづくり					
事業期間	平成28年度～	令和2年度	担当	都市建設部	都市計画課	課等長 東山 智
予算科目	会計	-	款	-	項	-
根拠法令	都市計画法・都市計画関連法		事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 補助事業		

2 事業概要 (Plan)

事業実施の背景	市を活性化するためには、広域的な拠点から身近な拠点まで大小さまざまな拠点を作り、地域の特性を生かしたまちづくりを進める必要がある。	
目的	対象（誰・何を）	意図（どういう状態にしたいか）
	白井駅（中心都市拠点）・西白井駅（生活拠点）	市役所、白井駅前周辺や西白井駅前周辺などの都市拠点において、地域特性に合わせたにぎわいづくりを実現することで中心都市拠点・生活拠点の充実を図る。
手段	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 補助金等 <input type="checkbox"/> 協働 <input type="checkbox"/> その他	
	・中心都市拠点・生活拠点における商業施設やにぎわい施設の誘導施策を実施。	

3 取組状況 (Do①)

H30年度取組状況	・市役所周辺において、にぎわいと交流のための施設の誘導を図るため、都市計画変更（用途地域の変更・地区計画決定）について都市計画審議会に諮問した（H31年度継続）。 ・都市マスタープランで「公益的施設誘導地区」と位置づけされている市街化調整区域において、にぎわいと交流及び地域振興等に寄与する施設の誘導を図るため、「根公益的施設誘導地区地区計画」を都市計画決定した。 ・白井駅周辺における新たな賑わいの創出を図るための事業手法として「PPP/PFI調査」検討などを行った。	
改善策取組状況	前年度以前評価での改善項目	改善状況（前年度評価に基づかない改善事項等も含む）

4 コスト (Do②)

区分		H27年度決算	H28年度決算	H29年度決算	H30年度決算	H31年度予算	R2年度予算	
事業費計 A								
財源内訳	国県支出金							
	受益者負担 B							
	地方債							
	その他							
一般財源		0	0	0	0	0	0	
人件費計 C		0	811	795	798	798	798	
内訳	正職員	人数	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10	
		人件費	0	811	795	798	798	798
	臨時職員	人数						
		人件費						
総コストD=A+C		0	811	795	798	798	798	
市民1人コストD/人口(円)		0.00	12.79	12.46	12.52			
受益者負担率B/D(%)								

5 指標の推移 (Check①)

指標名		単位	区分	H28年度	H29年度	H30年度	R2年度	指標の説明		
①	年間商品販売額（卸・小売業）の上昇率	%	目標	-	-	-	10	千葉県「商業統計調査」からの年間商品販売額（小売業）の上昇率		
			実績	-	-	-				
	種別	成果指標	指標の方向							
	達成率	-	-	-						
指標1単位当たりコスト（千円）				-	-	-	79.8	コスト効率	-	
②			目標							
			実績							
	種別		指標の方向							
	達成率	-	-	-						
指標1単位当たりコスト（千円）				-	-	-	-	コスト効率	-	

6 事業の評価 (Check②)

項目		評価	評価の理由・課題
必要性	市が関与する必要性は薄れていないか	○	市の賑わいの創出には、中心拠点である、市役所、白井駅周辺、公益的施設誘導地区及び生活拠点である西白井駅周辺の活性化が必要であるが、民間事業者の参入を促進するためには、土地利用規制の変更等市が関与することが不可欠である。
	対象者の減少など事業の実施意義は薄れていないか	○	
	事業を実施しないと市民や地域社会に不利益が生じるか	○	
	対象や意図を限定又は拡充する必要はないか	○	
有効性	国・県・民間に類似の事業・サービスはないか	○	平成30年度の根公益的施設誘導地区地区計画の決定により、この事業の具体化が進んでいる。産業振興課をはじめ、関係各課と更なる商業施設や賑わい施設の誘導に向けて連携しており有効に進んでいる。
	指標目標を達成したか、意図の実現に近づいているか	○	
	他事業との連携・統合の余地はないか	○	
効率性	手段は適切か、サービス水準は適切か	○	民間活力による都市拠点におけるにぎわいづくりを図る政策であるため、民間との協働は不可欠であり効率的に進んでいる。
	民間委託や市民団体等との協働の余地はないか	○	
	受益者負担について見直す余地はないか	○	
	業務プロセス（進め方・手続き）に工夫の余地はないか	○	
実施体制（事務分担など）に工夫の余地はないか		○	
市民・対象者ニーズの状況・内容	<input type="checkbox"/> 増加傾向 <input checked="" type="checkbox"/> 変化なし <input type="checkbox"/> 減少傾向 現状では変化はないものの、産業振興課で施行した白井市商業施設等誘致促進条例により、今後民間事業者のニーズが増加することが見込まれる。		

7 今後の方向性 (Action)

事業の方向性	<input type="checkbox"/> 改善して継続 <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 休廃止 (年度) <input type="checkbox"/> 終了 (年度)	
	<input type="checkbox"/> 目的（対象・意図）の再設定 <input type="checkbox"/> 手段・サービス水準の見直し <input type="checkbox"/> 他事業との連携・統合 <input type="checkbox"/> 業務プロセスの改善 <input type="checkbox"/> 民間委託を導入・拡大 <input type="checkbox"/> 市民等との協働を導入・拡大 <input type="checkbox"/> 受益者負担の見直し <input type="checkbox"/> 臨時・再任用職員の活用 <input type="checkbox"/> その他	
改善内容		
改善により期待される効果		

平成31年度事務事業評価シート（重点戦略事業・一般事務事業用）

評価対象年度 H 30 年度

1 基本情報

事業名	マルシェにぎわいづくり支援・協働事業		コード	3 - 1 - 1 - 2		
位置づけ	拠点創造プロジェクト		都市拠点がにぎわうまちづくり			
	市役所・白井駅周辺や西白井駅周辺などでの地域特性に合わせたにぎわいづくり					
事業期間	平成27年度～令和2年度	担当	市民環境経済部 市民活動支援課 課等長 岡田 光一			
予算科目	会計 - 款 - 項 - 目 - 事業 -					
根拠法令			事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 補助事業		

2 事業概要 (Plan)

事業実施の背景	市の拠点となる場所において、市民の力を生かしたにぎわい、交流づくりを進めるため開催した。	
目的	対象（誰・何を）	意図（どういう状態にしたいか）
	市民・市外の人	市の拠点となる場所で人々の交流、にぎわいを創出する。
手段	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 補助金等 <input checked="" type="checkbox"/> 協働 <input type="checkbox"/> その他 ・市民団体が主催する「ときめきマルシェ」の総合相談、物品等の貸し出し、開催の周知等の支援の実施	

3 取組状況 (Do①)

H30年度取組状況	・団体への支援 物品の貸し出し・地方誌への掲載仲介・開催場所、駐車場の使用許可	
改善策取組状況	前年度以前評価での改善項目	改善状況（前年度評価に基づかない改善事項等も含む）
	その他（団体自立の促進）	・市の仲介による開催周知の減少

4 コスト (Do②)

(千円)

区分	H27年度決算	H28年度決算	H29年度決算	H30年度決算	H31年度予算	R2年度予算	
事業費計 A	486						
財源内訳	国県支出金						
	受益者負担 B						
	地方債						
	その他						
一般財源	486	0	0	0	0	0	
人件費計 C	1,588	24	24	24	24	24	
内訳	正職員	人数	0.20	0.003	0.003	0.003	0.003
		人件費	1,588	24	24	24	24
	臨時職員	人数					
		人件費					
総コストD=A+C	2,074	24	24	24	24	24	
市民1人コストD/人口(円)	32.84	0.38	0.37	0.38			
受益者負担率B/D(%)							

5 指標の推移 (Check①)

指標名	単位	区分	H28年度	H29年度	H30年度	R2年度	指標の説明
① 参加人数	人	目標	5,000	5,000	7,000	10,000	ときめきマルシェ一回開催ごとの参加者数
		実績	3,000	5,500	7,500		
	種別	成果指標	指標の方向	↑	達成率	60.0	110.0
指標1	単位当たりコスト(千円)		0.0	0.0	0.0	0.0	コスト効率 向上
② 出店数	者	目標	35	60	90	160	ときめきマルシェの1回当たりの出店数
		実績	36	78	109		
	種別	活動指標	指標の方向	↑	達成率	102.9	130.0
指標1	単位当たりコスト(千円)		0.7	0.3	0.2	0.1	コスト効率 向上

6 事業の評価 (Check②)

項目	評価	評価の理由・課題
必要性		
市が関与する必要性は薄れていないか	○	開催場所である白井総合公園の使用料の減免について支援を継続して行っている。
対象者の減少など事業の実施意義は薄れていないか	○	
事業を実施しないと市民や地域社会に不利益が生じるか	×	
対象や意図を限定又は拡充する必要はないか	○	
有効性		
国・県・民間に類似の事業・サービスはないか	○	参加人数や出店数は増えていることから、手段は適正であり有効性は高い。
指標目標を達成したか、意図の実現に近づいているか	○	
他事業との連携・統合の余地はないか	○	
手段は適切か、サービス水準は適切か	○	
効率性		
民間委託や市民団体等との協働の余地はないか	○	「ときめきマルシェ」は市民団体が主体となり実施している事業であり、団体が問い合わせ窓口の開設を行うなど自立運営が進んでいることから効率性は高い。
受益者負担について見直す余地はないか	○	
業務プロセス（進め方・手続き）に工夫の余地はないか	○	
実施体制（事務分担など）に工夫の余地はないか	○	
市民・対象者ニーズの状況・内容	<input checked="" type="checkbox"/> 増加傾向 <input type="checkbox"/> 変化なし <input type="checkbox"/> 減少傾向 イベントに参加したいという声や、次回の開催を期待する声も多く上がっており、市民の関心は高まっている。	

7 今後の方向性 (Action)

事業の方向性	改善して継続	現状のまま継続	休廃止	（年度）	終了	（年度）
事業の方向性	<input type="checkbox"/> 目的（対象・意図）の再設定					
	<input type="checkbox"/> 手段・サービス水準の見直し					
	<input type="checkbox"/> 他事業との連携・統合					
	<input type="checkbox"/> 業務プロセスの改善					
	<input type="checkbox"/> 民間委託を導入・拡大					
	<input type="checkbox"/> 市民等との協働を導入・拡大					
	<input type="checkbox"/> 受益者負担の見直し					
改善内容	<input checked="" type="checkbox"/> その他 着実に実績を重ね規模が拡大していることから、イベント実施団体の法人化を促す					
	改善により期待される効果	有事の際に代表者個人にかかってしまう責任を分散できる				

平成31年度事務事業評価シート（重点戦略事業・一般事務事業用）

評価対象年度 H 30 年度

1 基本情報

事業名	フェスティバル開催事業	コード	3 - 1 - 1 - 3
位置づけ	拠点創造プロジェクト 都市拠点がにぎわうまちづくり 市役所・白井駅周辺や西白井駅周辺などでの地域特性に合わせたにぎわいづくり		
事業期間	平成28年度～令和2年度	担当	市民環境経済部 産業振興課 課等長 川村 俊男
予算科目	会計 - 款 - 項 - 目 - 事業 -		
根拠法令	事業区分 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 補助事業		

2 事業概要 (Plan)

事業実施の背景	駅周辺などにおける地元商店の沈滞状況		
目的	対象（誰・何を） 地元商店や市内外の市民	意図（どういう状態にしたいか） 市内外の人との交流や賑わいを生む	
手段	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金等 <input type="checkbox"/> 協働 <input type="checkbox"/> その他 ・白井、西白井駅周辺でのイベントの開催 ・地元商店会との話し合い		

3 取組状況 (Do①)

H30年度取組状況	・駅前イベントについては、財政健全化の取組においてイベントの統廃合を掲げていること、商店会等との協議により、商店会としては業務を減らしていきたいことから本事業は休止することとした。 ・今後はふるさとまつりを更に充実させてにぎわい創出の集約を図っていくこととし、商店会長や地元事業者などで構成されるふるさとまつり実行委員会で協議し今年度は試験的に総合公園で開催した。総合公園での開催により、これまで最大の55,000人の来場者数があり、地域のシンボリックなまつりとしてにぎわい創出を図ることができた。		
改善策取組状況	前年度以前評価での改善項目	改善状況（前年度評価に基づかない改善事項等も含む）	

4 コスト (Do②)

区分		H27年度決算	H28年度決算	H29年度決算	H30年度決算	H31年度予算	R2年度予算
事業費計 A							
財源内訳	国県支出金						
	受益者負担 B						
	地方債						
	その他						
	一般財源	0	0	0	0	0	0
人件費計 C		0	0	0	0	0	0
内訳	正職員	人数					
		人件費	0	0	0	0	0
	臨時職員	人数					
		人件費					
総コストD=A+C		0	0	0	0	0	0
市民1人コストD/人口(円)		0.00	0.00	0.00	0.00		
受益者負担率B/D(%)							

5 指標の推移 (Check①)

指標名		単位	区分	H28年度	H29年度	H30年度	R2年度	指標の説明	
①	種別	指標の方向	目標	-	-	-	-	コスト効率	-
			実績	-	-	-	-		
	達成率	-	-	-	-				
	指標1単位当たりコスト(千円)	-	-	-	-				
②	種別	指標の方向	目標	-	-	-	-	コスト効率	-
			実績	-	-	-	-		
	達成率	-	-	-	-				
	指標1単位当たりコスト(千円)	-	-	-	-				

6 事業の評価 (Check②)

項目	評価	評価の理由・課題	
必要性	市が関与する必要性は薄れていないか 対象者の減少など事業の実施意義は薄れていないか 事業を実施しないと市民や地域社会に不利益が生じるか 対象や意図を限定又は拡充する必要はないか	- - - -	ふるさとまつりについては総合公園で開催し、地域のシンボルとなるまつりとしてにぎわい創出の集約を図り、駅前イベントについては事業の整理を行う。
有効性	国・県・民間に類似の事業・サービスはないか 指標目標を達成したか、意図の実現に近づいているか 他事業との連携・統合の余地はないか 手段は適切か、サービス水準は適切か	- - - -	同上
効率性	民間委託や市民団体等との協働の余地はないか 受益者負担について見直す余地はないか 業務プロセス（進め方・手続き）に工夫の余地はないか 実施体制（事務分担など）に工夫の余地はないか	- - - -	同上
市民・対象者ニーズの状況・内容	<input type="checkbox"/> 増加傾向 <input checked="" type="checkbox"/> 変化なし <input type="checkbox"/> 減少傾向 駅前イベントについては、地元事業者の負担が高い割に収益的效果が見込めないという意見や駐車場の確保が難しいこと、駅前の入居店舗が美容室、歯医者、学習塾が多く、物販店が少ない現状から、イベントによるにぎわい創出が難しい。		

7 今後の方向性 (Action)

事業の方向性	<input type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input checked="" type="checkbox"/> 休廃止 (30年度) <input type="checkbox"/> 終了 (年度)	
	<input type="checkbox"/> 目的（対象・意図）の再設定 <input type="checkbox"/> 手段・サービス水準の見直し <input type="checkbox"/> 他事業との連携・統合 <input type="checkbox"/> 業務プロセスの改善 <input type="checkbox"/> 民間委託を導入・拡大 <input type="checkbox"/> 市民等との協働を導入・拡大 <input type="checkbox"/> 受益者負担の見直し <input type="checkbox"/> 臨時・再任用職員の活用 <input type="checkbox"/> その他	(実施時期： H 年 月) (実施時期： H 年 月) (実施時期： H 年 月) (実施時期： H 年 月) (実施時期： H 年 月) (実施時期： H 年 月) (実施時期： H 年 月)
改善内容	イベントによるにぎわい創出が難しい性質の駅前の現状を踏まえ、一過性のイベントではなく、市民の要望がある飲食店の立地に向けて、駅前の空き店舗への物販・飲食店の誘致に重点を置く。	
改善により期待される効果		

平成31年度事務事業評価シート（重点戦略事業・一般事務事業用）

評価対象年度 H 30 年度

1 基本情報

事業名	工業団地アクセス道路整備事業		コード	3 - 1 - 2 - 1			
位置づけ	拠点創造プロジェクト		都市拠点がにぎわうまちづくり				
	工業団地への産業機能の集積に向けた環境整備						
事業期間	平成20年度 ~ 令和2年度	担当	都市建設部	道路課	課等長	竹田 忠夫	
予算科目	会計 一般 款 7 項 2 目 2 事業	★工業団地アクセス道路整備事業					
根拠法令			事業区分	<input type="checkbox"/> 市単独事業 <input checked="" type="checkbox"/> 補助事業			

2 事業概要 (Plan)

事業実施の背景	西白井駅圏から工業団地までの円滑な交通の流れを目的とした道路ネットワークの形成を図る必要が生じた。			
目的	対象 (誰・何を)	意図 (どのような状態にしたいか)		
	工業団地立地企業や取引先	工業団地への物流を増加させ、産業を活性化させる。		
手段	・白井工業団地及びその周辺から一般国道16号などの幹線道路へのアクセス道路の整備			
	全体計画	H29年度計画	H30年度計画	H31年度以後計画
	用地取得 14963.68㎡	用地取得 6910.5㎡	用地買収 4888.63㎡ 整備延長 76.1m	用地買収 2579.41㎡ 整備延長 2023.9m
	整備延長 2,100m			(令和3年度供用開始)
	H27用地取得 514.09㎡ H28用地取得 327.97㎡			

3 取組状況 (Do①)

H30年度取組状況	用地取得 3199.75㎡ (総取得 10112.82㎡ 総取得率 67.6%) 立木伐採工事 430㎡
改善策取組状況	前年度以前評価での改善項目 改善状況 (前年度評価に基づかない改善事項等も含む) 整備スケジュールの見直し 平成30年度交付金決定金額に基づき、事業期間を1年延長し、令和3年度供用開始とした。

4 コスト (Do②)

区分	H27年度決算	H28年度決算	H29年度決算	H30年度決算	H31年度予算	R2年度予算
事業費計 A	5,156	16,264	52,362	70,437	255,804	587,533
財源内訳	国県支出金	962	1,163	9,240	24,810	48,186
	受益者負担 B					
	地方債	2,600	800	6,800	32,100	168,900
	その他					
一般財源	1,594	14,301	36,322	13,527	38,718	47,033

区分	H27年度決算	H28年度決算	H29年度決算	H30年度決算	H31年度予算	R2年度予算	
人件費計 C	4,765	4,866	4,769	16,353	16,353	16,353	
内訳	正職員	人数	0.60	0.60	0.60	2.05	2.05
		人件費	4,765	4,866	4,769	16,353	16,353
	臨時職員等	人数					
		人件費					
総コストD=A+C	9,921	21,130	57,131	86,790	272,157	603,886	
市民1人コストD/人口(円)	157.04	333.26	895.62	1,361.99			
受益者負担率B/D(%)							

5 指標 (Check①)

指標名	単位	区分	H28年度	H29年度	H30年度	R2年度	指標の説明
① 用地取得率	%	目標	20	51	83	100	取得済面積/計画取得面積
		実績	5.3	45.0	67.6		
		種別 成果指標 指標の方向 ↑ 達成率	26.6	88.2	81.4		
指標1 単当たりコスト(千円)			10,061.9	1,439.1	3,840.3	-	コスト効率 低下
② 整備率	%	目標			4	64	整備済道路延長/計画道路延長
		実績			0		
		種別 成果指標 指標の方向 ↑ 達成率	-	-	0.0		
指標1 単当たりコスト(千円)			-	-	-	-	コスト効率 -

6 事業の評価 (Check②)

項目	評価	評価の理由・課題
有効性	×	交付金の決定額が要望額を下回り、予定通り進捗しなかった。入札不調により発注が遅れ繰越となった。
効率性	○	業務プロセス(進め方・手続き)に工夫の余地はないか
	○	工法の見直しなど事業費の削減の余地はないか
	○	補助金などの財源を更に活用する余地はないか
	○	実施体制(事務分担など)に工夫の余地はないか

7 今後の方向性 (Action)

事業の方向性	<input type="checkbox"/> 改善して継続 <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 休廃止 (年度) <input type="checkbox"/> 終了 (年度)	
	<input type="checkbox"/> 整備内容・水準の見直し (実施時期: H 年 月) <input type="checkbox"/> 整備スケジュールの見直し (実施時期: H 年 月) <input type="checkbox"/> 業務プロセスの改善 (実施時期: H 年 月) <input type="checkbox"/> 工法や仕様の見直し (実施時期: H 年 月) <input type="checkbox"/> 特定財源の活用 (実施時期: H 年 月) <input type="checkbox"/> 臨時・再任用職員の活用 (実施時期: H 年 月) <input type="checkbox"/> その他 (実施時期: H 年 月)	
改善内容		
改善により期待される効果		

平成31年度事務事業評価シート（重点戦略事業・一般事務事業用）

評価対象年度 H 30 年度

1 基本情報

事業名	工業専用地域振興事業	コード	3 - 1 - 2 - 2
位置づけ	拠点創造プロジェクト 都市拠点がにぎわうまちづくり 工業団地への産業機能の集積に向けた環境整備		
事業期間	平成28年度～令和2年度	担当	都市建設部 都市計画課 課等長 東山 智
予算科目	会計 - 款 - 項 - 目 - 事業 -		
根拠法令	都市計画法・都市計画関連法	事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 補助事業

2 事業概要 (Plan)

事業実施の背景	千葉ニュータウン事業の完了、人口減少社会の到来、少子化・高齢化の進展を迎え、持続可能なまちづくりを進めるためには、産業振興に民間活力を導入し、まちの活性化を図る必要がある。		
目的	対象（誰・何を）	意図（どういう状態にしたいか）	
	白井工業団地	地区まちづくり計画の策定等を進め、都市拠点がにぎわうまちづくりの一環として、産業拠点としての白井工業団地の活性化を図る。	
手段	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 補助金等 <input checked="" type="checkbox"/> 協働 <input type="checkbox"/> その他		
	・産業拠点としての白井工業団地の活性化を図るため、当該エリアにおける地区まちづくり計画の策定等を進める。		

3 取組状況 (Do①)

H30年度取組状況	・工業団地を横断する道路（市道00-003号線、市道00-003号線及び市道00-005号線沿い）において、工業団地の質の向上に寄与する利便施設の誘導を図るための都市計画変更（用途地域の変更、地区計画）の手続きを行っている。（31年度継続） ・工業団地の質の向上に寄与する利便施設の誘導を図るための都市計画変更（用途地域の変更、地区計画）に係る説明会を地権者等を対象に2回開催。		
改善策取組状況	前年度以前評価での改善項目	改善状況（前年度評価に基づかない改善事項等も含む）	

4 コスト (Do②)

(千円)

区分	H27年度決算	H28年度決算	H29年度決算	H30年度決算	H31年度予算	R2年度予算	
事業費計 A							
財源内訳	国県支出金						
	受益者負担 B						
	地方債						
	その他						
一般財源	0	0	0	0	0	0	
人件費計 C	0	1,622	1,590	1,595	1,595	1,595	
内訳	正職員	人数	0.20	0.20	0.20	0.20	0.20
		人件費	0	1,622	1,590	1,595	1,595
	臨時職員	人数					
		人件費					
総コストD=A+C	0	1,622	1,590	1,595	1,595	1,595	
市民1人コストD/人口(円)	0.00	25.58	24.92	25.04			
受益者負担率B/D(%)							

5 指標の推移 (Check①)

指標名	単位	区分	H28年度	H29年度	H30年度	R2年度	指標の説明
① 工業団地の地区計画・地区まちづくり計画の策定数(累計)	地区	目標	-	-	-	1	都市計画的手法の成果として工業団地の地区計画等の策定数とした。
		実績	-	-	-		
	種別 活動指標 指標の方向	達成率	-	-	-		
指標1単位当たりコスト(千円)			-	-	-	-	コスト効率 -
② 工業用地地価上昇率	%	目標	-	-	-	±0	地価公示の標準地(工業用地平均)の上昇率
		実績	-	-	2.8		
	種別 成果指標 指標の方向	達成率	-	-	-		
指標1単位当たりコスト(千円)			-	-	-	-	コスト効率 -

6 事業の評価 (Check②)

項目	評価	評価の理由・課題
必要性		
市が関与する必要性は薄れていないか	○	市の活性化のためには産業の中心拠点である白井工業団地の振興が必要であり、土地利用規制の変更は市が情勢に合わせ適切に関与する必要がある。対象地域の拡充等は検討しており、インフラ整備の状況を鑑み柔軟に対応していく。
対象者の減少など事業の実施意義は薄れていないか	○	
事業を実施しないと市民や地域社会に不利益が生じるか	○	
対象や意図を限定又は拡充する必要はないか	○	
有効性		
国・県・民間に類似の事業・サービスはないか	○	都市計画変更(用途地域の変更及び地区計画の決定)により、店舗等の立地が可能になることで、沿道地域の土地利用の自由度が上がると共に就労環境、採集環境が向上するため有効である。
指標目標を達成したか、意図の実現に近づいているか	○	
他事業との連携・統合の余地はないか	○	
手段は適切か、サービス水準は適切か	○	
効率性		
民間委託や市民団体等との協働の余地はないか	○	都市計画変更の際には地権者の同意が必要になるが、工業団地協議会との連携により効率的に進んでいる。また、当該都市計画変更により、工業団地でのまちづくりに対する認識の向上により、地区まちづくり計画の策定に向けた土壌を醸成していく。
受益者負担について見直す余地はないか	○	
業務プロセス(進め方・手続き)に工夫の余地はないか	○	
実施体制(事務分担など)に工夫の余地はないか	○	
市民・対象者二つの状況・内容	<input type="checkbox"/> 増加傾向 <input checked="" type="checkbox"/> 変化なし <input type="checkbox"/> 減少傾向	

7 今後の方向性 (Action)

事業の方向性	改善内容	改善により期待される効果
<input type="checkbox"/> 改善して継続 <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 休廃止 (年度) <input type="checkbox"/> 終了 (年度)	<input type="checkbox"/> 目的(対象・意図)の再設定	(実施時期: H 年 月)
	<input type="checkbox"/> 手段・サービス水準の見直し	(実施時期: H 年 月)
	<input type="checkbox"/> 他事業との連携・統合	(実施時期: H 年 月)
	<input type="checkbox"/> 業務プロセスの改善	(実施時期: H 年 月)
	<input type="checkbox"/> 民間委託を導入・拡大	(実施時期: H 年 月)
	<input type="checkbox"/> 市民等との協働を導入・拡大	(実施時期: H 年 月)
	<input type="checkbox"/> 受益者負担の見直し	(実施時期: H 年 月)
<input type="checkbox"/> 臨時・再任用職員の活用	(実施時期: H 年 月)	
<input type="checkbox"/> その他	(実施時期: H 年 月)	